

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：前佛 和秀

事業名 一般国道51号 <small>きたちばかくふく</small> 北千葉拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点 自： <small>ちばけんちばしわかばくかいづかちよう</small> 千葉県千葉市若葉区貝塚町 至： <small>ちばけんさくらしまわし</small> 千葉県佐倉市馬渡				延長 7.6km
事業概要 国道51号は、千葉県千葉市、成田市、茨城県鹿島市、水戸市を結ぶ延長124kmの幹線道路である。 北千葉拡幅は、国道51号の混雑緩和、交通安全の確保、道路ネットワーク機能の強化を目的として計画された延長7.6kmの現道拡幅事業である。				
S46年度事業化	S44年度都市計画決定 (4.5km) S60年度都市計画変更 (4.5km) H20年度都市計画決定 (3.1km)	S48年度用地着手	S57年度工事着手	
全体事業費	約257億円	事業進捗率 (令和2年3月末時点)	91%	供用済延長 3.8km
計画交通量	22,700~40,000台/日			
費用対効果分析結果	B/C <small>(事業全体)</small> 1.03 <small>(残事業)</small> 6.1	総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 41/622億円 事業費：28/596億円 維持管理費：13/26億円	総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 251/643億円 走行時間短縮便益：227/615億円 走行経費減少便益：20/24億円 交通事故減少便益：3.3/3.8億円	基準年 令和2年
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C= 0.9 ~1.1 (交通量 ±10%) 【残事業】交通量：B/C= 5.5~6.8 (交通量 ±10%) 事業費：B/C= 1.03~1.04 (事業費 ±10%) 事業費：B/C= 5.8~6.6 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C= 0.9 ~1.1 (事業期間±20%) 事業期間：B/C= 5.7~6.5 (事業期間±20%)				
事業の効果等 (1) 交通混雑の緩和・交通安全の確保 ・国道51号の吉岡十字路交差点、坂戸交差点は主要渋滞箇所にて特定されており、速度低下が発生。 ・国道51号の事故類型別事故発生状況は、車両相互の追突事故が約6割。 ・北千葉拡幅の整備により、交通混雑の緩和や交通事故の減少が見込まれる。 (2) 道路ネットワーク機能の強化 ・国道51号北千葉拡幅区間は、第一次緊急輸送道路及び重要物流道路に指定されている。 ・北千葉拡幅が整備されることにより、平常時に加え、災害時に緊急輸送を円滑に行うための幅員が確保されるとともに、高速道路IC、広域防災拠点や災害拠点、病院等へのアクセス性が向上し、道路ネットワーク機能の強化に寄与する。				
関係する地方公共団体等の意見 千葉県知事の見解： 国道51号北千葉拡幅は、交通混雑の緩和や交通の安全性を確保し、道路ネットワーク機能の強化を図るうえで重要な事業である。 ついては、事業を継続し早期完成に向け残る用地の取得や工事を推進するとともに、コスト縮減を図るなど、効率的な事業推進に努められたい。 千葉市長の見解： 北千葉拡幅事業は、京葉道路及び国道16号に直結する国道51号の混雑緩和と交通安全の強化が不可欠であり、4車線への拡幅及び歩道と中央分離帯の整備により、交通の円滑化と交通事故の減少が大きく期待できる事業であることから、引き続きコスト縮減に努めながら事業の早期完成を図られたい。				
事業評価監視委員会の意見 事業の継続を了承する。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・昭和53年に成田国際空港が開港し、国際貨物取扱量が増加、成田空港の拡張や周辺地域の宅地造成が進んだ。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・昭和46年度に事業化し、事業進捗率91%、用地進捗率82% (令和2年3月末時点)。 ・平成7年度に起点側延長2.7km、平成21年度に延長1.1kmの4車線整備を行い、開通済み。 ・未整備区間については、平成15年度より用地着手、平成25年度より工事着手。 ・平成28年度に吉岡十字路交差点の暫定改良 (右左折車線設置) が完了。 ・引き続き、用地の取得を推進するとともに、早期開通に向け事業促進を図る。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等				

